

成恵

HOSPITAL SPOT

すこやか一話 F1レーサー アルトン・セナを
陰で支えた技術者

2024 冬 第96号

ヘルメットマン!?

川崎和寛氏 (OFFICEKEN-DESIGN) にインタビュー



埼玉成恵会病院

F1レーサーアイルトン・セナを陰で支えた技術者

ヘルメットマン!?!

川崎和寛氏(OFFICEKEN DESIGN)にインタビュー

2023年12月というのに暖かさが続き、気温も安定しない時期でした。

院内にて院長より呼び出され「ヘルメットマンって知ってる? F1の?」話を聞いてほしいから、診察室に来てね!」いきなりということもあって、何を言われているのか正直、わけもわからぬまま診察室を訪れたのが川崎さんとの初対面でした。

ホンダ(本田技研工業株式会社)がカーレースの最高峰F1(フォーミュラ・ワン)で活躍したアイルトン・セナと共に世界の頂点を目指していた時代がありました。

そんなアイルトン・セナをヘルメット製作技術者として陰ながら支え、ヘルメットマンとして慕われ、院長の患者さんでもある『川崎和寛』さんにお話を伺うことができました。

川崎さんは、学生時代よりバイクに興味があり、そのバイク好きもあって1968年に本田技研工業株式会社へ入社します。77年からホンダ用品技研(現ホンダ アクセス)で二輪車用品の開発に従事して

アイルトン・セナはF1ファンの

中ではとても有名な選手でした。モータースポーツに携わる方のすべてに当てはまると思いますが、順位にこだわったレース展開、F1チャンピオンだけでなく、個々のレースにてポールポジション獲得に向けて野心むき出しの走り方はファンを大いに楽しませてくれたと同時に、彼に携わる人との衝突も多くありました。そんな中で、セナは川崎さんに対しては絶対的な信頼をし、率直な意見を言える仲間でもありました。それは、川崎さんも「プロ」であったこと、彼の要望には120%で応えたいということもあったようです。

私が取材をさせていただいた際に、取材メモには記載はしませんでした。心に残っている製品開発のお話があります。F1を観戦、視聴されたことのある方、車を運転する方なら経験があると思います。が、明るい場所から暗い場所へいきなり移動すると、目が慣れていないために、一瞬前が見えなくなりま。特にF1のような超高速で走行するモータースポーツの世界ではその一瞬が命取りとなります。現在では技術もあり、調光偏光レンズが製品化されていますが当時はトップシークレットとして製品開発を行っていたそうです。

F1にはモナコGP(グランプリ)というモナコ公国の市街地(公道)をコースにしたF1の中でも難しいコースがあります。ここに8番カーブを抜けてすぐにトンネルがあります。右に緩やかなカーブ



川崎和寛氏

を描きながらトンネルの中を爆走するのですが、このトンネルの入り口と出口でモナコの眩しい日差しの中を走行するドライバーは急な光量の差に苦しんでしまいます。少しのアクセルのゆるみが後々のタイムや順位に関係してくることからセナは川崎さんへ当時珍しかった調光できるヘルメットレンズの製作をレースの後にお願いしたのでした。これに応えたのが「プロ」である川崎さんです。セナの要望に応えた結果、セナのモナコGPにおけるドライバーチャンピオン獲得数は今でも破られていません(2024年1月現在)。

そんな川崎さんに今回短時間でしたが、取材をさせていただき様々なお話を伺うことができました。現在、川崎さんはデザイナーとして様々な分野でのデザイン制作を行っています。グッドデザイン賞を受賞した持ち運びのできる介護用お風呂などレース以外の分野でもデザインを続けています。

今回のホスピタルスポットでは書ききれない内容、書けない内容はたくさんあります。今回、川崎さんよりお話を聴かせていただく機会をいただきました。自身が体験したこと、体験してほしいこと、体験から多くを学べますが、本や教科書には載っていません。自分自身の感性が大事であると私も思っています。様々な場所で講演会やイベントを行っているとのことですので、ご興味ある方は川崎和寛氏の経歴から一度、お話を聞いてみてください。

バイク好きからHONDAへ入社。バイクの用品作りのデザイナー、製作者として90年よりF1マクラーレンチームへ帯同。その際に出会ったアイルトン・セナをはじめとしたドライバーのF1ヘルメットを担当。自身もバイクの国際A級ライセンス取得など異色の経歴を持つ。現在はOFFICEKEN DESIGNの代表として、レースのみならず、ユニバーサルデザインのものづくりに取り組みつつ、講演会や大学講師として活躍しています。

文責・ホスピタルスポット編集長 山田達也



いました。当時、スクーター(50cc)のヘルメットの着用義務化(1986年)が始まる中で、ヘルメットの作製・デザイン担当となったことがセナとの接点の始まりでした。

埼玉成恵会病院 消化器外科センター講習会開催

第4回

令和5年7月1日に埼玉成恵会病院リハビリ棟多目的ホールで通常診療終了後に開催されました。特別講演1として、虎の門病院分院長である宇田川晴司先生座長のもと「**虎の門病院における上部消化管手術―内視鏡手術からダビンチ手術まで―**」という内容で、虎の門病院上部消化管外科医長である春田周宇介先生のご講演をいただきました。

また、特別講演2として虎の門病院消化器外科部長・副院長である上野正紀先生座長のもと「**虎の門病院における下部消化管手術―内視鏡手術からダビンチ手術まで―**」という内容で虎の門病院下部消化管外科医長である花岡裕先生にご講演をいただきました。

当院では、虎の門病院との連携を行い、積極的に技術や治療方法など患者さんへ最善の治療方法を提案できるように日々研修を行っております。

消化器のことでも、お困りごとがあれば、一度受診をお勧めいたします。



院内講習会および講演会開催

令和5年6月3日に埼玉成恵会病院のリハビリ棟多目的ホールで現地、Webのハイブリット開催をしました。

主にテニス選手向けの講演会でしたが、スポーツ医療に携わる方にも**スポーツ選手と医療がどのようにかかわっているか、最高のパフォーマンスを発揮するためにどのようなことに注意したらよいか**など、わかりやすい内容となりました。

一般講演として、当院の長谷川院長を座長のもと、リトルプリンステニスクラブオーナーの荒井秀樹さんや、東テニス接骨院院長の東裕之さんに講演をいただきました。また、特別講演として**国際テニス連盟医学委員で、東京オリンピックにもテニスのスポーツドクターとして参加した、聖マリアンナ医科大学名誉教授の別府諸兄先生より「テニスによる健康寿命並びに手肘の障害について」**という内容で講演していただきました。

特に印象に残ったのは、テニスは選手寿命が長いという事です。

他にも選手寿命が長いスポーツはありますが、スポーツを続けることにより体へのどのような影響を与えるかなどを踏まえ、ご講演していただきました。



第1回

埼玉成恵会病院 スポーツ研究会講演会開催

こんなお困りの症状はありませんか？

消化器外科センター編

ケンさん(58歳)のケース

「定期健康診断で便潜血陽性を指摘され、まさかの診断」

症状 自覚症状なし
人間ドックで“便潜血”、要精密検査の指摘



今回の担当医
清水広久医師

ケンさん(仮名)は、会社での定期健康診断は、埼玉成恵会病院の健康管理センターで年に1回、人間ドックを行っています。これまで、検査結果に特に異常があったことはなく、今年も、特に不調もなかったため、何の問題もないと思っていました。

ところが届いた人間ドックの結果を確認すると、便潜血の検査の項目のうち、「便Hb金コロイド法」「便定性2日」という項目で「**要精密検査**」の判定でした。

便への出血は、自分では確認できず、検査結果には正直、半信半疑でした。

ちょうど仕事は繁忙期で、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたばかりということや別の用件も重なり、なかなか医療機関へ行くこともできずにいました。

1 毎年人間ドックを受けているが、特に異常なし

体の不調など、
自覚症状は何もなし

人間ドックの結果では、
便潜血反応で要精密検査

忙しくて医療機関へ
なかなか行けない



2 ふと診断結果を思い出して、翌日埼玉成恵会病院へ

健康診断を受けてから
日数が経ってしまった

たまたま時間ができて、
受診可能か電話で問い合わせる

予約なしでも可能とのことで、
健診結果を持参して受診



人間ドックを受けたのは春でしたが、そのまま夏が過ぎ、残暑が厳しい9月になって、ケンさんはふと、診断結果の「**要精密検査**」という指摘を思い出します。この時期も、公私ともに予定がぎっしり詰まっていたため、たまたま翌日は予定のキャンセルがあったので、再検査のために病院へ行けるとしたら翌日しかありませんでした。

そこでさっそく健康診断を受けた埼玉成恵会病院へ電話で問い合わせたところ、予約なしでも翌日に受診可能とのこと。そしてタイミングよく、外科の診療日とのことでした。

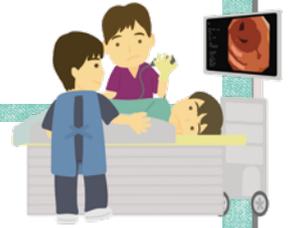
翌日朝一番に、ケンさんは健康診断の結果を持って埼玉成恵会病院の外科を受診しました。このとき、診察を行ったのは消化器外科センターの清水医師でした。

3 消化器外科専門医の 詳細な診察を受ける

診察した担当医は、
大腸カメラを勧める

医師の勧めに従い、
検査を受ける

まだ便の異常について自覚なし



清水医師は、ケンさんの症状を詳しく問診しました。それによると、ケンさんは健康診断を毎年受けていましたが、特に悪い結果も出ていなかったために、日ごろ多少気になることがあっても、わざわざ病院を受診してはしなかったことがわかりました。

清水医師は、ケンさんの年齢や生活習慣、家族歴などから判断して、大腸ファイバースコープ（大腸カメラ：CF）をすることを勧めました。

ケンさんは、清水医師の提案通り、翌週に予定を合わせてCFを行うことにしました。

ただその段階でも、ケンさん自身は便を見て血液付着を確認できなかったため、CFも勧められたから大腸検診と思って受けるつもり、という軽い気持ちでした。

4 大腸にポリープ、憩室と がんが見つかる

ポリープの中に
悪性を疑う所見あり

大腸カメラと同時に生検も行う

予想外の結果に驚きと落胆

ところが、大腸に8つのポリープと多数の憩室等が確認され、しかもポリープの1つは、**「嫌な病態」**を示すものでした。清水医師は、このポリープが便潜血の原因だと考え、同時に生検（生体検査…組織を一部とって調べる検査）も行いました。

数週間経って、生検の結果を聞くために受診。清水医師より伝えられた結果は、なんと**「大腸がん」**でした。

ケンさんは予想外の事に大変驚き、これまで問題なかったのになぜ…と落胆しました。



5 医師から治療法を提示され、 すぐに治療を開始

家族とも相談して内視鏡下による手術を選択

早期発見により
術後経過は順調

定期健診の
重要性を再認識



清水医師から、手術法は「ESD」と「OPE」の、どちらにするかよく考えるよう言われました。ESDは、内視鏡的粘膜下層剥離術のことで、OPE（外科切除）に比べて体への負担が少なく済む利点があります。ケンさんは家族や知人に相談してESDを選択し、さっそく、がん治療に向けた治療計画が作成されました。

検査入院で全身を調べたところ、幸い他の部位へのがん転移はなかったので、そのまま手術当日を迎えました。手術は成功、順調に回復して術後14日で退院できました。

ケンさんは、人間ドックや健康診断を毎年受けていたため、今回の早期発見につながったことから、健診の重要性を改めて実感しています。

「要精密検査」との指摘をされたら、放置せず、事前予約なしでも診察を受けることのできる当院へ、ぜひ一度、受診されてみてはいかがでしょうか。

※外科治療の際、当院では虎の門病院との連携により、虎の門病院の医師と主治医である清水医師が手術を担当することがあります（詳しくは外科担当スタッフまでお声がけください）。

埼玉成恵会病院 健康管理センターのご紹介

診断や治療の精度と技術が発展を遂げている時代だからこそ、“早期発見と早期治療”が非常に大切です。そのためにも定期的健康診断、“人間ドック”は必要不可欠になっています。当院ではニーズにあわせた健診プランのご提供をいたします。

■ 人間ドックメニュー

- 日帰りドック
- 一泊ドック
- 脳ドック

■ オプションメニュー 予約制

- 胃部内視鏡検査
- 脳ドック／頭部CT／頭部MRI・MRA
- 胸部CT検査／腹部CT検査
- 頸動脈超音波検査
- 婦人科項目
- 各種腫瘍マーカー検査(当日申し込み)
- ロックス・インデックス(LI)
- アミノインデックスがんリスク(AICS)

■ お申し込み方法 完全予約制

電話または健診センター窓口にて
予約の申し込み

希望コースの
選択

検査予約日の
決定

※後日、ご案内を郵送いたします。 ※ご都合によりキャンセルまたは変更される場合は、お早めにご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

医療法人埼玉成恵会病院
健康管理センター

TEL:0493-23-0277 (8時30分～17時)

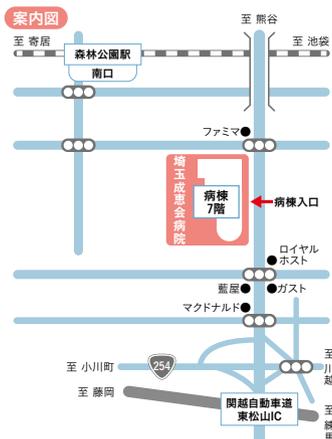
令和4年度「病院指標」をホームページで公開中

埼玉成恵会病院では、厚生労働省が定めるテンプレートを利用して病院指標を公表しております。現在公表しております情報は、令和4年4月1日～令和5年3月31日に当院を退院された患者さんが集計の対象となっております。

詳しくはホームページをご覧ください。

病院指標とは…当院ではDPCデータ※から全国統一の定義と形式に基づいた指標を患者さんへ情報公開を進めております。病院指標とは、医療の質を数値で示して客観的に評価するものです。

※DPC制度(1日当たりの包括評価制度)とは、平成15年に導入された急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度。(引用元:診調組D-3-1 22.10.26)



交通 **電車** 東武東上線 「森林公園駅」下車徒歩6～7分
※池袋駅から森林公園駅まで約1時間

自動車 関越自動車道 東松山インターより3分

〒355-0072 埼玉県東松山市石橋1721

TEL:0493-23-1221

ホームページ:seikei.or.jp



成恵会

検索